



平成 29 年 6 月 13 日
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

企画展「まだまだ奥が深いぞ！『相模の海』－最新の生物相調査の成果－」

開催のお知らせ

国立科学博物館では、下記のとおり、企画展「まだまだ奥が深いぞ！『相模の海』－最新の生物相調査の成果－」を開催いたしますので、お知らせします。

国立科学博物館は、平成 29 年 6 月 13 日（火）から 9 月 3 日（日）の期間で、企画展「まだまだ奥が深いぞ！『相模の海』－最新の生物相調査の成果－」を開催いたします。

『相模の海』は生物多様性の高い海域として知られ、約 150 年前から現在まで様々な生物相調査が行われてきた世界的にも珍しい海域です。本展では、最近のマリンバイオ共同推進機構（JAMBIO）の調査においても新種や世界的珍種の発見等の成果が上がっていることをもとに、調べるほど新たな発見に出会う『相模の海』の奥深さを紹介します。

記

【会 場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）

【開催期間】平成 29 年 6 月 13 日（火）～9 月 3 日（日）

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

（一般・大学生：620 円（団体 310 円）高校生以下および 65 歳以上無料※団体は 20 名以上）

【休 館 日】6 月 19 日（月）・26 日（月）～30 日（金）、7 月 3 日（月）・10 日（月）・18 日（火）

【主 催】国立科学博物館

【協 力】筑波大学下田臨海実験センター、東京大学海洋基礎生物学研究推進センター、マリンバイオ共同推進機構（JAMBIO）

【展示概要】別添の「展示概要」参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：持田

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9883、FAX：03-5814-9898

E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

主な監修者のプロフィール



国立科学博物館 動物研究部
海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹
並河 洋 (なみかわ ひろし)
専門分野：動物系統分類学・発生学

<http://www.kahaku.go.jp/research/researcher/researcher.php?d=namikawa>



筑波大学下田臨海実験センター
生命環境系 准教授
中野 裕昭 (なかの ひろあき)
専門分野：進化発生学

<https://sites.google.com/site/hiroakinakanolab/members/nakano>



東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所
生命科学系 技術専門職員
幸塚 久典 (こうつか ひさのり)
専門分野：分類学

企画展

まだまだ奥が深いぞ！

相模の海

最新の生物相調査の成果

展示概要

本展では、相模湾と相模灘をあわせた海域を『相模の海』とします。『相模の海』は、明治時代から様々な生物相調査が行われてきた世界的にも稀有な海域です。それぞれの生物相調査には特色があり、また、その調査のたびに新発見がもたらされてきました。当館が2001年から2005年に行った調査もこの歴史の延長線上にあります。

この海域での生物相調査は、最近、新しい展開を迎えました。それは、2009年に筑波大学下田臨海実験センターと東京大学海洋基礎生物学研究推進センターが連携して設立したマリンバイオ共同推進機構（JAMBIO）による生物相調査（JAMBIO 沿岸生物合同調査）です。これは、2013年度から本格的に実施された生物相調査で、これまで見過ごされることの多かった小型の動物を探求すること、また、多くの若い研究者が参画していることが特色の調査です。

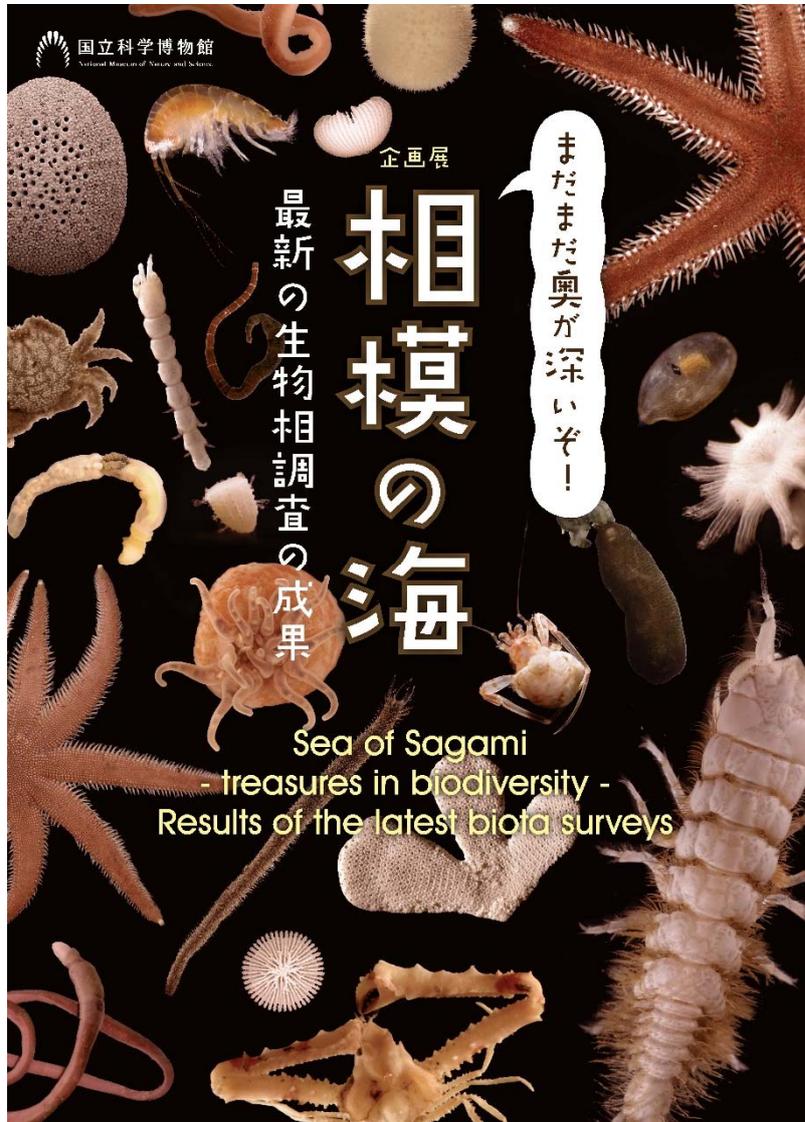
この調査によって、この数年の間に大きさ1mm以下の動物を含む約50種の新種が発見されたことは大きな成果です。また、その成果の一部は、2015年に発表された論文“JAMBIO Coastal Organism Joint Surveys reveals undiscovered biodiversity around Sagami Bay”（JAMBIO 沿岸生物合同調査が明らかにした相模湾とその周辺海域の未発見の生物多様性）にも取り纏められています。

このたび、JAMBIO 沿岸生物合同調査が節目となる5年目を迎えるにあたり、調べるほど新たな発見と出会う『相模の海』の奥深さを紹介します。

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



企画展「相模の海」
画像提供：国立科学博物館

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。（記事内容をチェックするものではありません。）
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈広報に関するお問い合わせ先〉 国立科学博物館 事業推進部 広報・運営戦略課 園山
電話 03-5814-9855 FAX 03-5814-9899
E-mail : shuzai@kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展

最新の生物相調査の成果

相模の海

まだまだ奥が深いぞ！

Sea of Sagami
- treasures in biodiversity -
Results of the latest biota surveys

2017 6/13 [火] - 9/3 [日]

国立科学博物館 (東京・上野公園) 地球館1階 オープンスペース

開館時間 / 午前9時～午後5時

※6月の金・土曜日は午後8時まで

※7・8・9月の金・土曜日は午後9時まで

※8月13日(日)～17日(木)・20日(日)は午後6時まで

※入館は各閉館時刻の30分前まで

入館料 / 一般・大学生620円(団体)310円

高校生以下および65歳以上無料

主催 / 国立科学博物館

協力 / 筑波大学下田臨海実験センター

休館日 / 6月19日(月)・26日(月)～30日(金)、
7月3日(月)・10日(月)・18日(火)

東京大学海洋基礎生物学研究推進センター
マリンバイオ共同推進機構(JAMBIO)

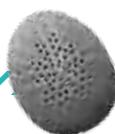
相模の海

まだまだ奥が深いぞ！

相模湾と相模灘をあわせた海域を『相模の海』とします。『相模の海』は、海流(黒潮と親潮)や相模トラフに向かって急峻で複雑な海底地形の影響などによって、熱帯・亜熱帯系の生物や冷水系の生物、そして、深海生物など多種多様な海産生物がすむ海域として世界的にも有名です。また、『相模の海』は世界的にも珍しく約150年前から現在まで生物相調査が行われてきた海域でもあります。当館も2001年～2005年に生物相調査を行っています。これら約150年にわたる生物相調査の成果が『相模の海』を世界的に有名にしているのです。



『相模の海』の海域



生物相調査に新たな展開 — JAMBIO 沿岸生物合同調査 —

2009年、筑波大学下田臨海実験センターと東京大学海洋基礎生物学研究推進センター(三崎臨海実験所を含む)の連携により、マリンバイオ共同推進機構(JAMBIO)が設立されました。その目的は、日本における海洋生物学研究者のネットワークを築くこと、海洋生物学分野の基礎研究を発展させることなどです。その一環として、全国から多くの研究者が参加するJAMBIO 沿岸生物合同調査が行われています。この調査では、海底から動物を採集するドレッジ調査やプランクトン調査、潜水調査など様々な方法で標本を採集しています。



ドレッジ調査の様子



潜水調査の様子

新種 50 種発見！

JAMBIO 沿岸生物合同調査によって、イソギンチャクやサンゴの仲間、多毛類、コケムシ類、ヒモムシ類、タナイス類(小型甲殻類)、ウニ類など様々な動物においてこれまでに約50種の新種が発見されています。



新種として発表された(あるいは予定の)動物たち

そして、世界的珍種も・・・

JAMBIO 沿岸生物合同調査において、最初の発見から何十年かぶりに再発見された貴重な動物や世界から数例しか発見されていないとても珍しい動物も採集しました。これらの動物については、現在、その研究成果の発表が待たれています。

交通ガイド

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」から徒歩10分
 - 京成電鉄
「京成上野駅」から徒歩10分
- ※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

FAX: 03-5814-9898

<http://www.kahaku.go.jp/>